

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ
 **野村不動産**

会社案内

NOMURA REAL ESTATE DEVELOPMENT
CORPORATE PROFILE

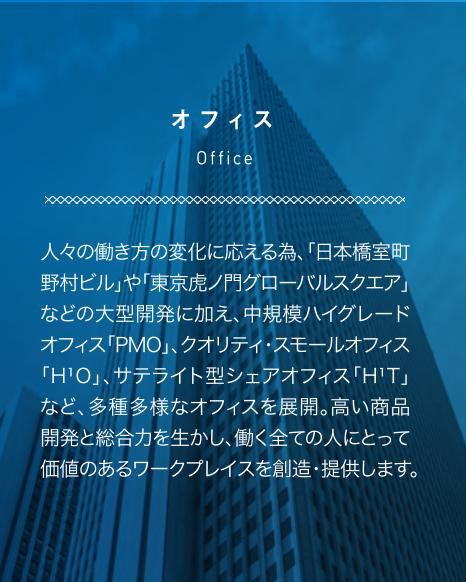
野村不動産会社案内
2021

あしたを、つなぐ

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし
あした
未来につながる街づくりとともに、豊かな時を人びとと共に育み
社会に向けて、新たな価値を創造し続けます。

住宅
Residence

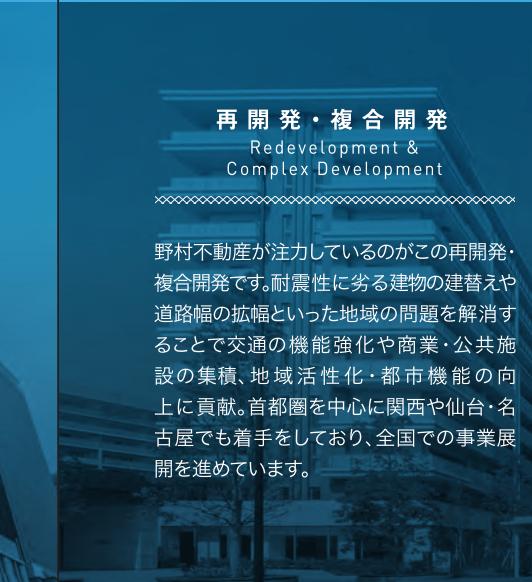
野村不動産では製販管一体の強みを活かし、首都圏を中心とした新築分譲マンション「プラウド」、戸建て「プラウドシーザン」、そして郊外型マンション『オハナ』を開発。ご入居後も独自のアフターサービスを提供するなど上質な住まいにこだわった住環境の創造に取り組んでいます。

オフィス
Office

人々の働き方の変化に応える為、「日本橋室町野村ビル」や「東京虎ノ門グローバルスクエア」などの大型開発に加え、中規模ハイグレードオフィス「PMO」、クオリティ・スマートオフィス「H'IO」、サテライト型シェアオフィス「H'T」など、多種多様なオフィスを開発。高い商品開発と総合力を生かし、働く全ての人にとって価値のあるワークプレイスを創造・提供します。

商業施設・ホテル
Retail Facilities and Hotels

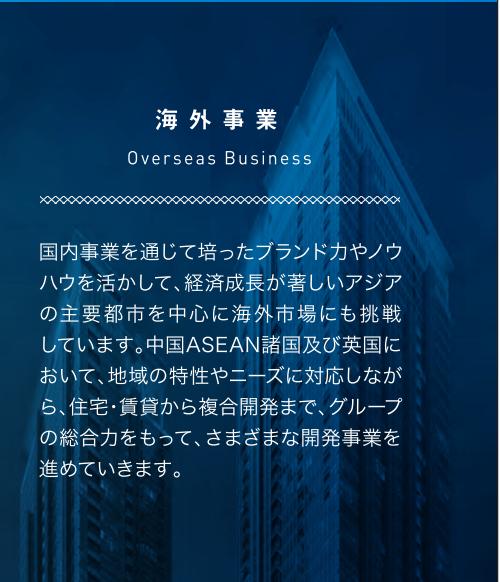
デベロッパーの総力を活かし、再開発事業地内に開設した「ソコラ武蔵小金井」や「bono相模大野」をはじめ、地域に根差した商業施設を開発。また都市型商業施設「GEMS」や「MEFULL」など多様化する時代にフィットする商業施設を開発・運営しています。さらに、世界の人々と地域を繋ぐコミュニティ型ホテル「NOHGA HOTEL」を手掛け、事業の拡大を図っています。

再開発・複合開発
Redevelopment & Complex Development

野村不動産が注力しているのがこの再開発・複合開発です。耐震性に劣る建物の建替えや道路幅の拡幅といった地域の問題を解消することで交通の機能強化や商業・公共施設の集積、地域活性化・都市機能の向上に貢献。首都圏を中心に関西や仙台・名古屋でも着手をしており、全国での事業展開を進めています。

物流施設
Logistics Facilities

首都圏・関西圏・中部圏などの物流プライムエリアを中心に、物流用地のソーシング(情報収集)から取得・開発までをグループ連携による一貫体制で実現。2007年より良質な「最新仕様」「操作性能」「作業環境」「物流立地」を追求するというコンセプトのもと『Landport』ブランドのシリーズ展開を始めています。

海外事業
Overseas Business

国内事業を通じて培ったブランド力やノウハウを活かして、経済成長が著しいアジアの主要都市を中心に海外市場にも挑戦しています。中国・ASEAN諸国及び英国において、地域の特性やニーズに対応しながら、住宅・賃貸から複合開発まで、グループの総力をもって、さまざまな開発事業を進めています。

CHALLENGE
FOR NEW VALUE

豊かなライフスタイル・ワークスタイルの実現や
地球環境・地域社会の未来を見据えた多機能な街づくり。
情報が世界中で共有され、多様な価値観が生まれるいま、
不動産開発においても、より迅速な変化への対応や
グローバルな視野での新しい事業への取組が求められています。
野村不動産では、これまで培ってきた独自の強みに日々磨きをかけながら
これまでも、これからも、新たな価値創造の実現に挑み続けます。



02

事業紹介

06

トップメッセージ



18

オフィス事業

20

新宿野村ビル／日本橋室町野村ビル
東京虎ノ門グローバルスクエア／『PMO』
クオリティ・スマールオフィス『H'Q』
サテライト型シェアオフィス『H'T』



32

物流施設事業

『ランドポート』

34

市街地再開発・複合開発事業



44

海外事業

48

野村不動産グループの サステナビリティ



08

住宅事業

10

新築分譲マンション『ラウド』
新築分譲一戸建て『ラウドシーズン』
郊外型新築分譲マンション『オハナ』

14

都市型賃貸マンション『ラウドフラット』
健康増進型・賃貸シニアレジデンス『オウカス』

16

マンション建替え事業
地方中核都市事業

24

商業施設事業

26

都市型商業施設『GEMS』
サービス特化型商業施設『MEFULL』
地域密着型商業施設『SOCOLA』

28

YUITO
bono 相模大野ショッピングセンター
Morisia津田沼ショッピングセンター

30

ホテル事業

36

ラウドタワー金町
ラウドタワー名古屋栄(テラッセ納屋橋)
ふなばし森のシティ/ZUTTO CITY(ズットシティ)

38

エリアマネジメント

40

芝浦一丁目計画／日本橋一丁目中地区
西麻布三丁目北東地区

42

再開発・複合開発プロジェクト 未来マップ

51

ウェルネスマネジメント

52

沿革



**お客さまの未来を想い、
人そして個に寄り添うことで
新たな価値創造を続けます。**

皆様には平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社は1957年に創業し、鎌倉梶原山の宅地造成から開発事業をスタートさせました。創業以来、社会の要請とお客様のニーズにお応えしながら、総合不動産会社として常に柔軟な発想で新たな事業にチャレンジしてまいりました。安心・安全で快適な街をつくり、そこに「住まい・働き・憩う」人々の暮らしや時を豊かにすることで、より良い未来へつないでいくことが私どもの使命です。さらに、すべてのステークホルダーの皆様の満足を追求し、社会の一員として社会と共に成長し、持続可能な社会の実現に貢献するサステナブルな企業でありたいと考えています。

事業の領域は年々拡大しています。

住宅事業においては、お住まいになる「お客さまの未来を想う」をブランドビジョンに掲げた分譲マンション「プラウド」に加え、郊外型マンション「オハナ」、戸建ての「プラウドシーズン」、都市型賃貸マンション「プラウドフラット」、サービス付き高齢者住宅「オウカス」など、多彩な住まいを提供しています。都市開発事業においては、加速するニーズの多様化にお応えするべく、従来の大型オフィスに加え、中・小規模で高機能かつ高グレードのオフィス（PMO、H1O）やサテライト型シェアオフィス「H1T」を開発するなど、時代の変化に合わせたオフィスポートフォリオの提案を行っています。さらに、独創的な商業施設やホテル、高機能な物流施設なども開発しており、多様な機能を組み合わせた複合型大規模開発にも積極的に取り組んでいます。これらは三大都市圏にとどまらず、地方中核都市においても再開発事業等に数多く参画するなど、そのフィールドは拡大しています。そして、国内での

実績とノウハウを基に、成長著しいアジア各国を中心に海外事業を展開しています。各國でのパートナー企業と共に、品質や商品力の向上を目的とした「KAIZENプロジェクト」などに積極的に取り組んでおり、現地のお客さまニーズに合わせた商品やサービスを提供しています。

今後10年程度の間には、芝浦一丁目プロジェクトなどの大規模開発が複数予定されており、当社の中長期的な成長にも大きく付与します。こういったスケールの大きなプロジェクトにおいても、そこに住まう人、働く人、憩う人にフォーカスし、個に寄り添うことで細部までこだわりぬく、当社の独自性や価値観が遺憾なく発揮されると確信しています。

昨今は、新型コロナウィルス感染症の拡大を発端として、私たちを取り巻く社会情勢や経済環境が大きく変化し、お客様のニーズや価値観の多様化は、より加速しています。

こうした時代の転換点において、安心・快適で人にも地球にも優しい街づくりや不動産関連サービスを提供していくためには、これまで以上に変革とチャレンジによる新たな価値創造が必要となります。弊社がこれまで培ってきた高度な開発機能を最大限発揮するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、より一層のサステナブルな企業活動を行うことで、独創性の高いビジネスモデルをさらに発展させてまいります。そして、「未来につながる街づくり」と「豊かな時の育み」を通じて、皆様の信頼と期待にお応えしてまいります。

野村不動産株式会社
代表取締役社長

松尾 大作



住宅

上質な住まいにこだわり続けた
生涯品質の住環境を提供

野村不動産の強みは、グループ力を活かして用地取得から販売・管理までを行う“製・販・管一貫体制”。首都圏を中心に展開する『プラウド』ブランドに加えて、郊外型マンションブランド『オハナ』が首都圏郊外エリアを対象に住宅を開発・分譲しています。また、これまでに培ってきたグループ独自のノウハウをもとに「野村不動産グループカスタマークラブ」をはじめ入居後もお客様の暮らしを多面的にサポートする独自のサービスを展開。さらに多機能でサステナブルな街づくりとコミュニティの提供を目指し、マンションの建替えや再開発事業などさまざまな形でお客さまの願いや想いに応えています。

プラウドシティ吉祥寺／東京都三鷹市



新築分譲マンション
プラウド
- PROUD -

マンションの企画・設計から販売、管理までの
一貫体制でたったひとつの住まいづくりを

お客さまの未来を想う。

2002年に誕生したプラウドは、理想の住まいづくりを追求する上で、守り続けている事があります。野村不動産グループによる製造・販売・管理の一貫体制でお客さまに寄り添い続けるということ。住まいの完成も、お客様のご入居もゴールではなく、スタート。その想いは私たちにとって原点であり、原動力です。これまで培ってきた知識や経験は日々進化を遂げながら継承され続けています。安心・安全への厳格な姿勢、そして新しい発想。日々、挑戦しながらたったひとつのかけがえのない住まいづくりに取り組んでいます。

新築分譲一戸建て
プラウドシーズン
- PROUD -
SEASON

時の流れを価値に変える
永住品質にこだわる街づくり

野村不動産の一戸建て事業『プラウドシーズン』のコンセプトは「人・街・時代の資産として残る住まいづくり」。立地の選択から地域特性に合った街並みやインフラ整備、設備仕様を熟考。資産価値を高める家づくり、街づくりを進めています。「永住品質」にこだわり、年月を経るほどに街の成熟を感じさせる素材を吟味。また、街区内外は安心・安全を求めた道路・公園計画を策定し、隣棟間隔や窓の配置などプライバシーにも配慮。そして大規模プロジェクトでは住民同士の交流を育むコミュニティスペースを創出するなど、「この街に住んでよかった」と心から思っていただける住まいづくりを目指します。



プラウドシーズン国分寺日吉町／東京都国分寺市

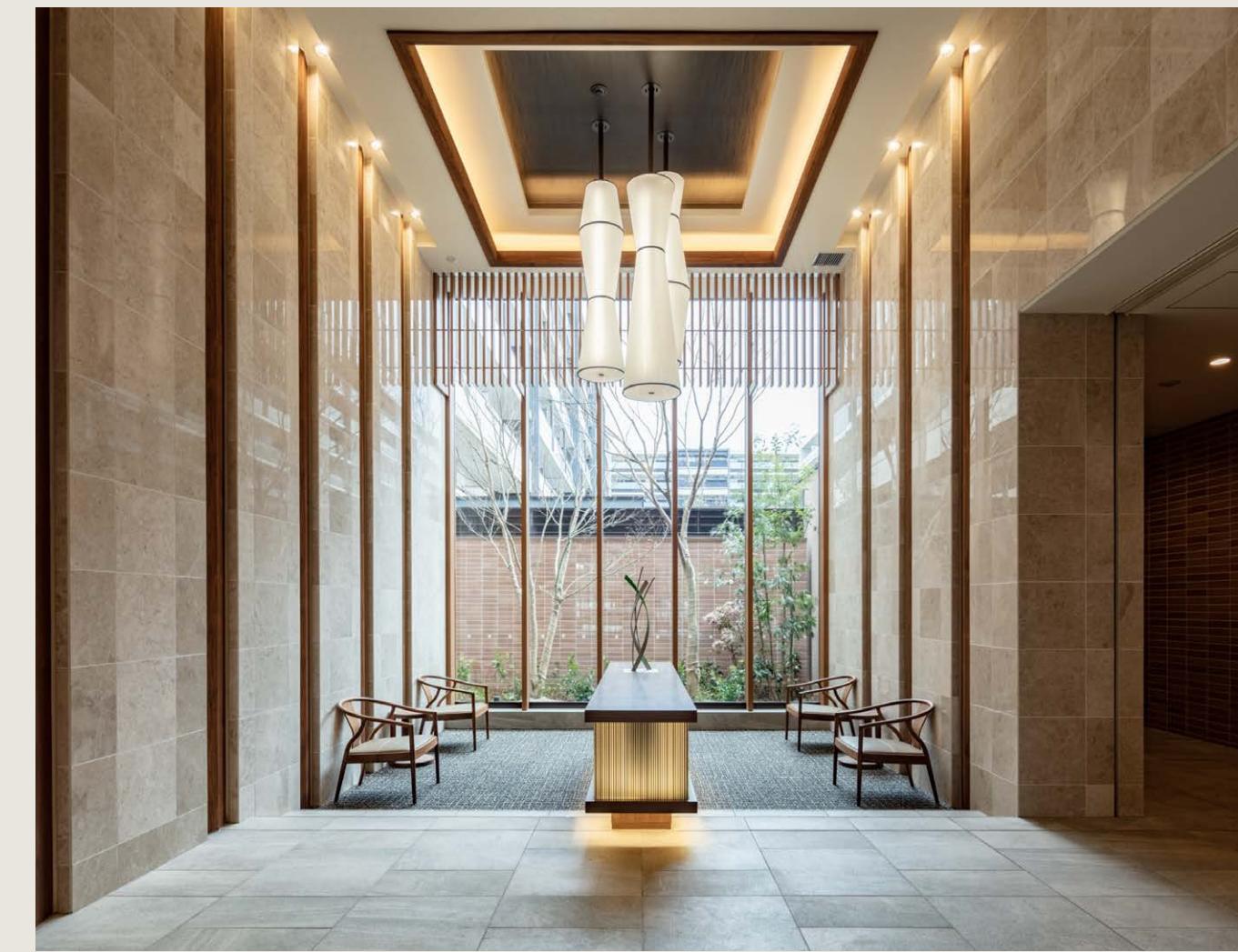
新築分譲マンション
オハナ
X OHANA

家族の時間を育む
上質な郊外型マンション

野村不動産2つ目の住宅ブランドとして、2011年8月に誕生した郊外型マンションブランド『オハナ』。ハワイ語で「家族、家族の絆」を意味する言葉から名付けられました、このブランドのキャッチは“家族に、やさしい時間を。”多くの人々に魅力的な価格で上質感のある住まいをお届けすることを信念としています。暮らしの「今」を快適にするための細部への工夫から長期間のアフターサービスなど、「将来」を見据えた対応力。そしてこの街に住む家族とともに成長していく豊かな植栽計画など、心地よい暮らしのための基盤づくりをトータルに提案しています。



オハナ淵野辺ガーデニア／神奈川県相模原市



1. プラウド代官山フロント／東京都渋谷区

2. プラウドシティ吉祥寺／東京都三鷹市

3. プラウド恵比寿ヒルサイドガーデン／東京都渋谷区

4. プラウドシティ武蔵野三鷹／東京都武蔵野市

5. プラウドシティ吉祥寺／東京都三鷹市

| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |



プラウドフラット中野

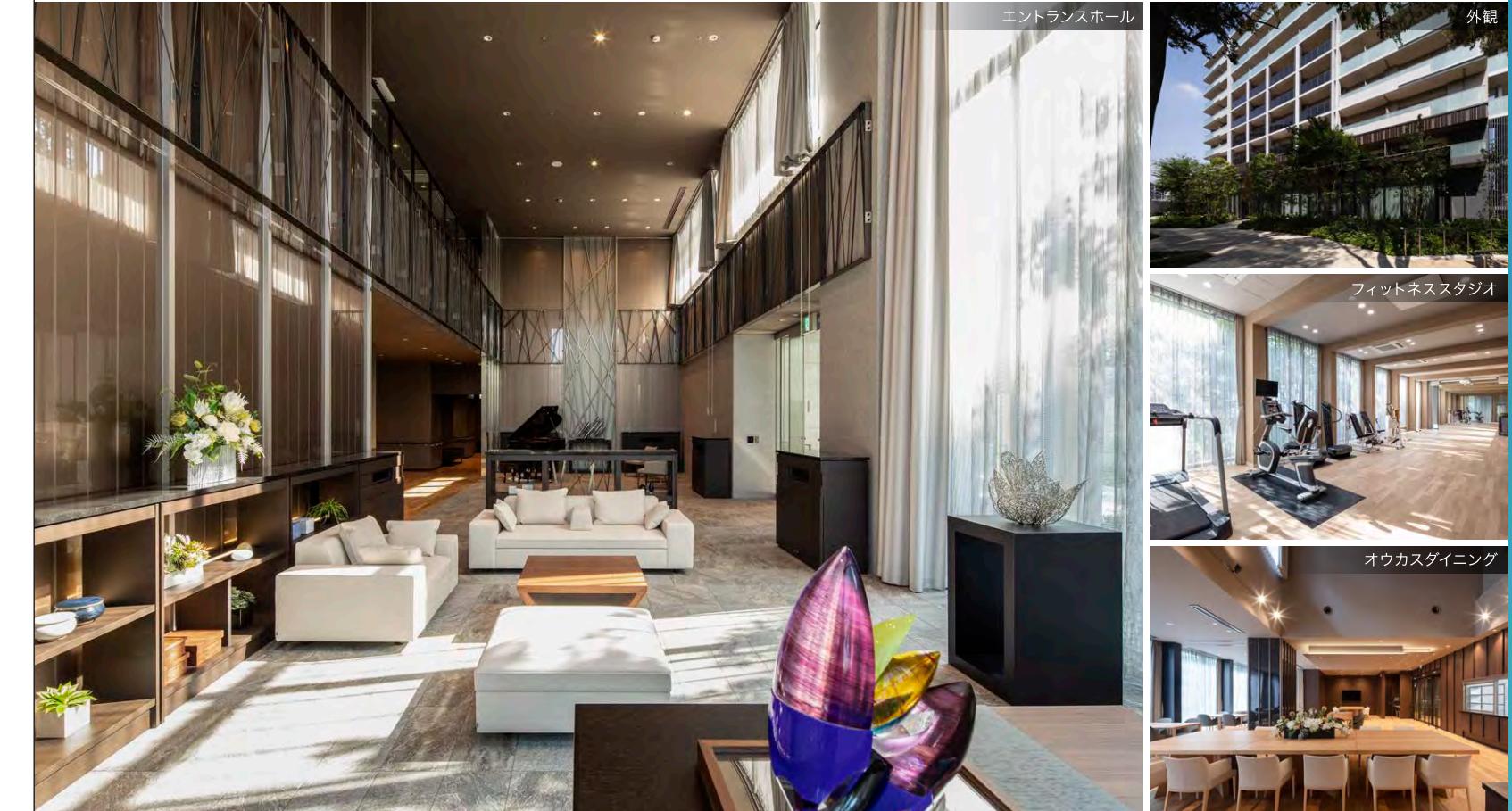


プラウドフラット中野

都市型賃貸マンション
プラウドフラット
- PROUD -
FLAT

プラウドのノウハウを活かした
都市型賃貸マンション

住まうこと=ライフスタイルそのものを上質にするデザイン。「プラウドフラット」が考える「デザイン」とは、目に見える造形の美しさに留まらない、住み心地やプランニングなど「住まい手の生活に関わるすべて」を意味します。目指したのは、その街に住まう人のライフスタイルを第一に考えた、機能的で暮らし心地のよい環境づくり。建築・設備・防災・セキュリティの細部までへのこだわりに加え、ディテール・立地環境・機能性といった付加価値を与えた一邸は、都市に生きる人の多様な生活スタイルをゆったりと満たします。“人生を自由に、都市生活を自在に”楽しむ人にふさわしい賃貸住宅です。



エントランスホール



フィットネススタジオ

オウカスダイニング

オウカス 日吉



オウカス 船橋

オウカス 吉祥寺

■「オウカス」の特徴

- 交通生活利便の高い「立地」、住まうことが誇らしく、日々の時間が豊かになる「建物」、カラダとココロの両方から健康維持・増進を図る「サービス」
- 「運動、食事、コミュニティ、医療・福祉」の4つの視点から、住むだけで心身ともに健康になれる仕組みを設けた「オウカス・ウェルネスプログラム」の提供



入居者向け運動プログラム



オウカスダイニング(オウカス 船橋)

健康増進型・賃貸シニアレジデンス
オウカス

OUKAS

介護に頼らない世の中を目指し、
お客様の健康寿命の延伸と
世界一の人生づくりを追求する、
新たなコンセプトの住宅

「OUKAS(オウカス)」は、「人生を、謳歌し、生き生とした明日を実現する住まい」をコンセプトとした健康増進型・賃貸シニアレジデンスです。立地、建物にこだわり、「運動、食事、コミュニティ、医療・福祉」の4つの視点から、住むだけで心身ともに健康になれる仕組みの「オウカス・ウェルネスプログラム」を提供。入居者の健康寿命の延伸を通じて、入居者本人及び家族の皆様が楽しく、安心・安全で過ごせる毎日を支援するとともに、社会課題の解決(社会保障費の抑制、介護離職者数の低減等)にも取り組みます。



クラウドシティ阿佐ヶ谷／東京都杉並区



片町四番組海側地区再開発事業完成イメージ

マンション建替え事業

信頼と実績で社会的課題の解決に挑戦

日本全国に築年数が30年を超えるマンションは200万戸以上あるといわれ、それらの耐震強度不足や老朽化などの課題をいかに解消していくかが社会問題となっています。野村不動産では、これまで培ってきた市街地開発事業での街づくりのノウハウをもとに、権利者の方々や設計事務所・コンサルタントなどの事業関係者と共に、一つのチームとなり、長く安心してお住まいいただける耐震性・機能性に優れたマンションの再生に取り組んでいます。今後も積極的にこの社会的な課題に取り組み、安心で安全な住まいをご提供してまいります。

建替え前
※UR都市再生機構提供

建替え後

地方中核都市事業

コンパクトシティ化のニーズを捉え、
地方中核都市マーケットへ進出

地方創生や人口減少、高齢化社会を見据えた「コンパクトシティ化」構想が国主導で進められる中、特に地方都市においては「持続可能な街づくり」「都心居住」「コンパクトな街づくり」が急務となっています。このような社会的要請を踏まえ、野村不動産ではこれまで培った住まいづくりや街づくりのノウハウを活かし地方中核都市における良質な住宅の安定的な供給や駅前再開発を推進しています。新潟市・富山市・広島市における分譲マンション事業の参入をはじめ、金沢市の中心市街地や静岡駅、岡山駅、福島駅前等においても複合再開発事業に参画。今後も地元関係者・行政の皆様と協力し細かな対応ができる体制を構築することにより、地方中核都市における街づくりに積極的に取り組んでまいります。



JR岡山駅前町再開発計画完成イメージ*

*完成イメージは今後変更となる場合があります。

大規模
オフィス

Large



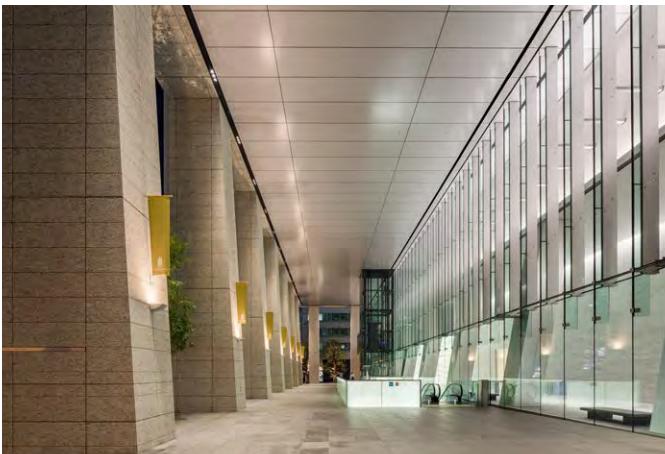
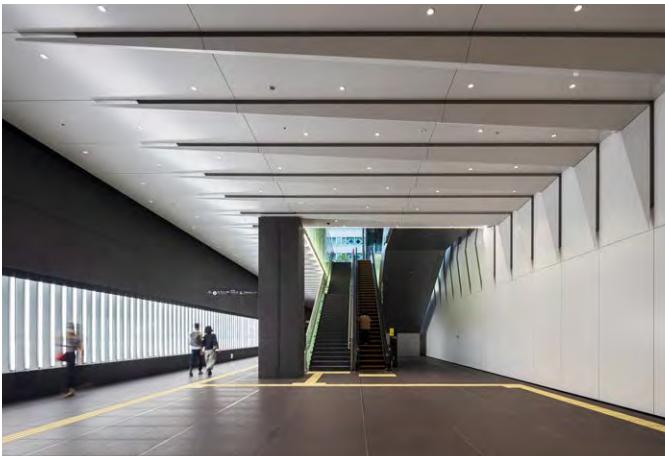
Middle



Small



Share

東京虎ノ門グローバルスクエア[※]/東京都港区

※JV事業

オフィス

高い商品開発力・運営ノウハウで
変化するオフィスニーズに的確に応える

「働き方の多様化」により、従来のオフィス環境を変化させていく企業が増加している今、ニーズの変化に呼応したオフィスとして、クオリティ・スマートオフィス『H1O(エイチワンオー)』、サテライト型シェアオフィス『H1T(エイチワントー)』を展開しています。都心部大型開発によるオフィスビル、中規模ハイグレードオフィスビル『PMO』シリーズの拡充と共に、高い商品開発力と総合力を活かした多様な働き方にワンストップで対応できるオフィスポートフォリオを構築。働く全ての人に価値のあるオフィス空間を創造・提供していきます。

開発事業
新宿野村ビル

日本の超高層建築物の先駆け
技術と英知が集結する基幹ビル

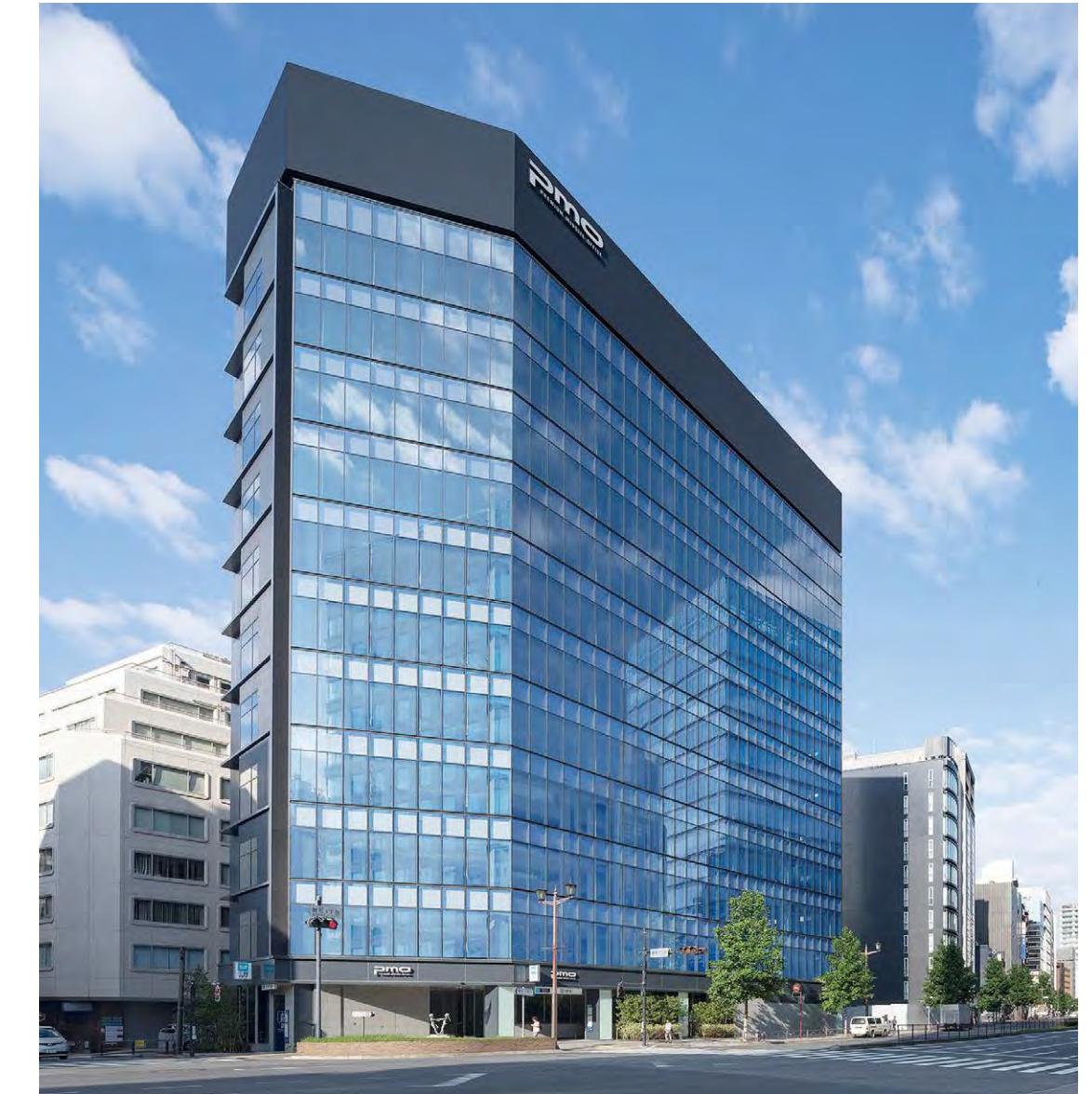
地上50階・地下5階建て、高さ約200mのオフィスフロアを中心とした超高層複合ビル「新宿野村ビル」。日本を代表する超高層建築物が集積する西新宿において6番目となる1978年に竣工した建築物です。時代のニーズに対応するため設備や施設を改修しながら常に価値のある先進的なビルとして進化を続けています。また高層建築物の中でも新宿駅から比較的近いロケーションであり、地下道で直結されるなどアクセスもスムーズ。約50社の入居テナントと約40店が集う商業ゾーンが複合し、「新宿野村ビル」は常に賑わいと活気に満ちています。



再開発事業 日本橋室町野村ビル

歴史的資産を継承しながら新しい日本橋の価値を創造

江戸時代に五街道の起点として発展し、400年を超える歴史を持つ日本橋。そこで「日本橋室町野村ビル」は周囲の歴史的建造物との調和を図りながら、最先端技術によるエコロジーで安全な未来型の街づくりを実現しました。東京メトロ「三越前」駅直結。建物は地上21階・地下5階建て。地下1階から地上9階の商業店舗ゾーンは「YUITO」と名付けられ、各種店舗、ビジネスフロア、サービスゾーンを備えた複合施設となっています。アクセスのよさを最大限に活かしたビジネス拠点と商業・サービス拠点の機能が調和した価値を日本橋に刻んでいます。



PMO半蔵門

国家戦略特区・再開発事業
東京虎ノ門グローバルスクエア*

虎ノ門駅直結。国際的なビジネス交流拠点として機能強化

2015年6月「東京圏国家戦略特別区域における国家戦略都市計画建築物整備事業」として、内閣総理大臣の認定を受けた再開発事業です。近接する新橋駅や霞が関駅と形成する主要なビジネスエリアにおいて、東京メトロ銀座線虎ノ門駅直結とする大規模オフィスビル。臨海部や国際空港へのアクセス性が高く、国際的なビジネス拠点として機能強化に寄与しています。

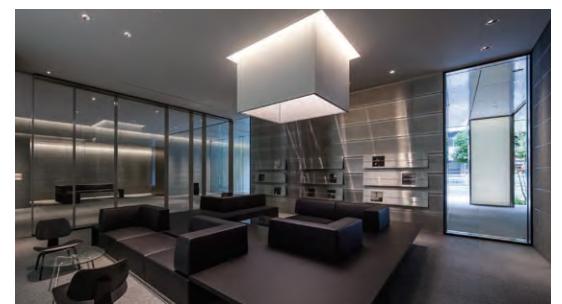
*JV事業



オフィスビル事業
PMO
PREMIUM MIDSIZE OFFICE

ニーズに応えるために生まれた
プレミアム・ミッドサイズ・オフィス

中規模サイズでありながら、大規模ビルと同等の機能性とグレードを併せ持つオフィスビル『PMO』。ワンフロア・ワンテナント設計を基本とし、効率性と独立性・安全性を確保しています。またセキュリティレベルは最高5段階までの設定が可能で、機密情報を扱う企業からも高い信頼を得ています。さらに、ハード面だけでなく各種イベントやサービスを実施し、入居企業様同士の交流やビジネスマッチングの場の提供も行っています。



PMO日本橋江戸通



テナント企業様限定イベント「PMO NIGHT」開催風景



H'1O 虎ノ門 ラウンジ

クオリティ・スマートオフィス
H'1O
HUMAN FIRST OFFICE
エイチワンオー

幸せな働き方を、オフィスから考える

『H'1O』は、“ヒューマンファースト”をコンセプトに一人ひとりの働きやすさを考え抜いた少人数向けのオフィス。安心の多重セキュリティや、きめ細やかなレセプションサービス、個別空調や豊かなグリーンなど、人が心地よく働けるためのデザインを追求。生産性及び付加価値を生む力を高め、スマートビジネスの成長を支援する環境を提供してまいります。また、大～中規模企業におけるプロジェクト拠点や分室など、増加する分散拠点需要にも応えられる環境を提供いたします。



H'1O 渋谷神南



H'1O 渋谷神南 貸室(モデル区画)

H'1O 渋谷神南
貸室(モデル区画)

H'1O 生体認証セキュリティシステム



H'1T 新宿西口 オープンスペース

サテライト型シェアオフィス
H'1T
HUMAN FIRST TIME
エイチワンティー

「拠点に縛られない」
働き方の潮流をサポート

野村不動産が提案する、これからの働き方とオフィスのあり方にフィットした時間貸しワークスペース「H'1T」。「ヒューマンファースト」の価値観のもとに、働き方の多様化と効率化に応えるサテライト型シェアオフィスブランドです。「個」に寄り添った「空間・時間」「商品・サービス」を徹底追及することで、働く人、訪れる人に、新しい時代の新しい価値を提供します。働く人の「時間」を一番に考え、オフィスに縛られない多様なワークスタイルを実現するために、首都圏、全国のビジネス都市を中心に、多拠点展開していきます。



H'1T 二子玉川 オープンスペース



H'1T 新宿西口 1名用ブース

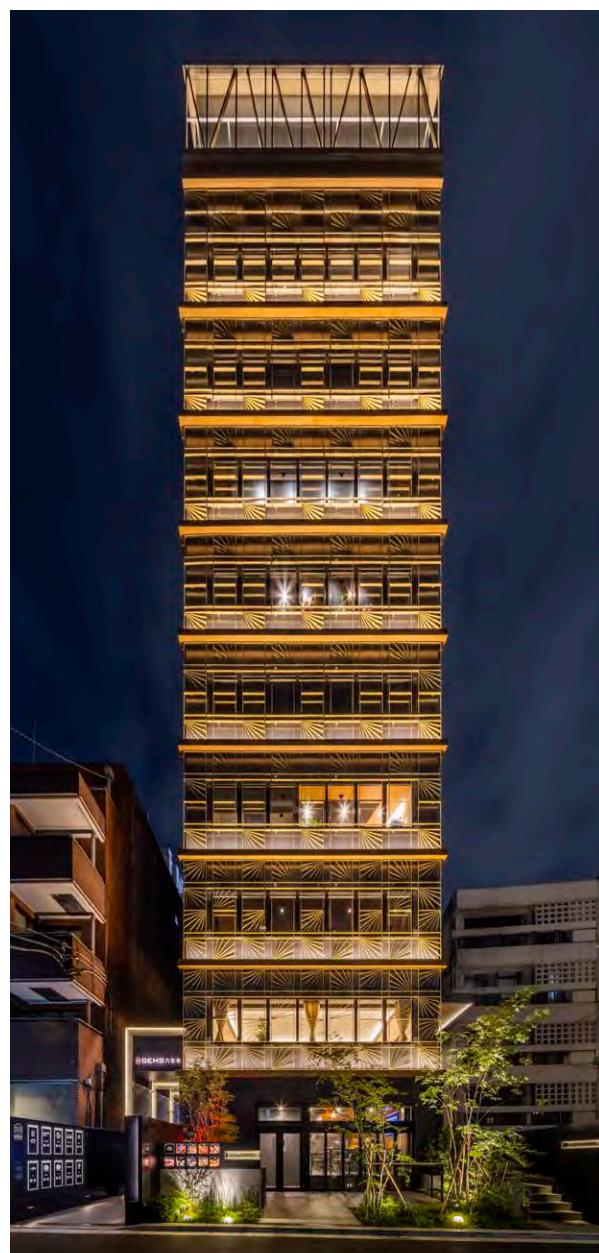
H'1T 相模大野 1名用ブース

商業施設

大型商業施設から地域密着型商業施設まで
お客様に満足をもたらす施設を開発

こだわりの商品と一流のサービスを提供する『日本橋室町野村ビルYUITO』や『bono相模大野ショッピングセンター』など、お客様のニーズにお応えする複合型大規模商業施設の開発を推進。さらに、食体験に特化した都市型商業施設『GEMS』では、人々の日常に寄り添う店舗構成の「GEMS」と、日常のハレの場所として新しいスタイルと価値観を提供する「GEMS CROSS」の2ブランドで、その街で過ごす人々に煌めきを創り出す施設を目指します。また「健康・学び・くらし」のサービス特化型商業施設『MEFULL』および都下～郊外地域を中心とした地域密着型商業施設『SOCOLA』の新ブランドを展開。豊かな時間を提供する施設計画とサービスにより、施設利用者と出店者双方の満足度を追求します。





GEMS六本木



GICROS GINZA GEMS



GEMS川崎



GEMS HIROO CROSS



MEFULL 浦和

地域密着型商業施設
SOCOLA

地域ニーズに合わせた店舗を集積、
暮らしに溶け込む地域住民のパートナー



SOCOLA 若葉台



SOCOLA 用賀

都市型商業施設
GEMS

こだわりの美味しい飲食店を中心とした
人々の日常に寄り添う店舗構成

野村不動産が手がける都市型商業施設『GEMS(ジェムズ)』。その名には宝石を意味する「GEM」に複数形の「S」を付け、宝石がいくつも集積し「街を幸せにする煌めきを創り出す施設に」という想いが込められています。また、立地に合わせたこだわりの美味しい飲食店に参画頂き、いつもの街が理想の街に一歩近づく、そんな食体験を提供します。外観についてもそのエリアや街並みに調和する素材・デザインにこだわり、首都圏や地方中核都市を中心に人・企業が集まる人気エリアや交通の拠点などで展開しております。立地特性に応じた柔軟な発想を各所にとりいれ、街を幸せにする煌めきを創り出す施設を目指します。



日本橋室町野村ビル(YUITO)

商業施設
日本橋室町野村ビル
YUITO
日本橋室町野村ビル

“本物”を求める大人のための
商業・サービスゾーン

東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅に直結する「日本橋室町野村ビル」、その地下1階から地上9階に位置するのが「YUITO(ユイト)」です。こだわりの素材と卓越した技術に裏付けされた商品を提供する物販店、確かな腕による匠の味と心のこもった一流のサービスを提供する厳選された飲食店。そして最新設備を持ち質の高いビジネスソリューションとして機能するカンファレンス施設「野村コンファレンスプラザ日本橋」、金融店舗やクリニックなどから構成。上質な時間と空間を提供する、“本物”を求める大人のための商業・サービスゾーンを備えた複合施設です。



5・6階「野村コンファレンスプラザ日本橋」

商業施設
bono相模大野
ショッピングセンター

人の流れをさらに活性化する、
駅前大型複合施設

小田急線「相模大野」駅前にある大型複合施設「bono(ボーノ)相模大野」。野村不動産グループが一体となって街づくりから携わった複合再開発施設で、26階建ての「プラウドタワー相模大野」と約1万2000坪の広さを誇るショッピングセンターで構成されます。ここでは住まう人・働く人・集う人それぞれのライフスタイルに重点をおいた開発を実施。「ボーノ広場」や屋上庭園「saga-niwa(さがにわ)」を設けるなど、地域の人々が毎日足を運びたくなる商業施設を目指すことで周辺住民の交流の場を創出しています。



bono相模大野ショッピングセンター

商業施設
Morisia津田沼
ショッピングセンター
Morisia tsudanuma

緑と共に鳴して潤いを提供する
駅前複合商業施設

JR津田沼駅南口最大の複合商業施設『Morisia(モリシア)津田沼』。JR津田沼駅とペデストリアンデッキで直結した利便性が特長です。施設コンセプトは、『“日常のちょっとうれしい”が満載のショッピングセンター』。スーパーをはじめ大型家電やファッショニ・インテリア・飲食店など多彩で個性豊かな専門店を誘致しワンストップショッピングとしての利便性を叶えます。さらに、開放感あふれるテラスやルーフガーデンなど森(緑)と共感できる空間創出により生活にプラスアルファの潤いを提供します。



Morisia津田沼ショッピングセンター

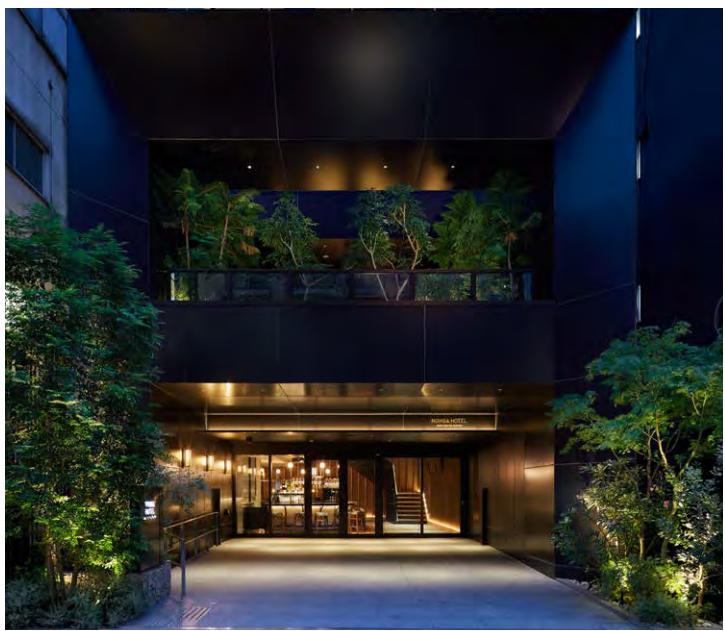


NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO

ホテル事業

上質な滞在体験と
空間を提供することにこだわった
独創的なホテル事業を多面的に展開

ホテルに求められる役割がますます多様化する時代にあった、単に「宿泊」のニーズを満たすだけでなく、お客様を「上質な時間と体験」でおもてなしするホテルづくりを行っています。各地域の素晴らしい歴史・文化や地元の人々との交流といった野村不動産のホテルならではの体験をご提案することを通じて、その地域の多彩な魅力を世界に発信していくことを目指しております。ホテルを起点とする「未来へつながる街づくり」「人と人、人と街を繋ぐコミュニティづくり」を積極的に推進し、当社自らが商品開発、サービス提供を行っています。



NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO



NOHGA HOTEL UENO TOKYO

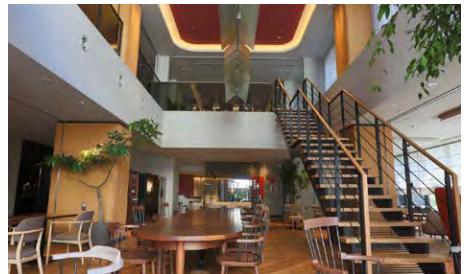


贅沢さよりも上質さにこだわった都会の隠れ家

東京を堪能できる利便性の高い立地と、「美しいモダンな和」をコンセプトに日本の美を追究した上質な空間が、国内外のゲストから人気の「庭のホテル 東京」。美しい中庭を挟んだ和洋2つのレストランからは、四季折々の風景が楽しめます。



庭のホテル 東京



NOHGA HOTEL UENO TOKYO

NOHGA HOTEL

「地域との深いつながりから生まれる
素敵な経験」をコンセプトに
世界と地域を繋ぐコミュニティ型ホテル

「NOHGA HOTEL」では、洗練された上質感にこだわりつつ、ホテルが立地する地域が大切に守ってきた文化や伝統に敬意を払い、地域のデザイナーや職人と連携した家具や備品、アートなどを取り入れ、ホテル内でその文化を感じていただけるホテルづくりを行います。また、ゲストと地域が深く繋がることにより数多くの素敵な出会いを生み出していくよう、ホテルスタッフがゲストに地域の魅力を発信すると共に、地域の文化や歴史を体験できる様々なサービスを提供してまいります。

Logistics Facilities

Landport 高槻

物流施設

**良質な仕様、性能、環境、立地
高機能型大規模物流センターを供給**

日本各地で開発を行うデベロッパーとして培ったノウハウを活かした物流ビジネスを推進。物流用地のソーシングから取得・開発・リーシング・竣工後の運営管理まで、一貫体制でソリューションの提案をしています。企業の収益性向上と物流の効率化を実現するとともに、そこに働く人びとの暮らし、その街の環境をも豊かにしていく施設づくりを目指します。

物流施設事業
ランドポート

Landport

絶え間なく人とモノが行き交い
世界への窓口となる「地上の港」

「ランドポート(Landport)」は、「新しい選択を創造するロジスティクス共創拠点」をコンセプトとする物流施設。首都圏、中部圏、関西圏に開発実績をもち、荷主の紹介なども含めた付加価値の高いリーシングを実施しています。入居するテナントに合わせた立地提案から、業種(カテゴリー)毎に最適化した仕様を導入するフレキシブルな設計、施設内ワーカーに配慮したアメニティスペースや環境に配慮した設備の導入まで提案。物流業務の効率性向上の実現とサステイナブル(持続可能)な施設を提供しています。また、ロボティクスやICT、搬送機器などの物流関連技術を有する企業各社と連携し、当社が核となって組成する企業間共創プログラム「Techrum」(テクラム)の提供など、様々な荷主・物流企业固有の課題解決へ向けた総合的なソリューション開発を行っています。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

1. Landport 習志野 外観
2. Landport 青梅Ⅱ エントランス
3. Landport 青梅Ⅰ 倉庫
4. Landport 東習志野 カフェテリア
5. Landport 習志野 カフェテリア 内会議室



Redevelopments & Mixed-use developments

市街地再開発・複合開発

経験やノウハウを活かし
地権者や行政と共に新しい街を創造

野村不動産の強みである住宅を核とした大規模再開発・複合開発において、その土地を最大限に活かすために、多機能かつ高い利便性を有する「都市型コンパクトタウン」の強化に取り組んでいます。野村不動産は長年、各地の駅前エリアを中心に、数多くの再開発事業の実績を積んでまいりました。現在も首都圏のみならず地方中核都市において多くの地区で再開発を推進中です。こうした再開発への取り組みこそがデベロッパーの社会的使命であると考え、関係者の方々と協力しながら街づくりという巨大なプロジェクトを着実に推進しています。



再開発前の航空写真



プラウドタワー名古屋栄
(テラッセ納屋橋)

所在地：愛知県名古屋市
階数：地上29階建／地下2階
総敷地面積：約11,108.29m²
総戸数：分譲マンション347戸
竣工：2017年6月下旬



駅前の風景を一新する、再開発・複合開発プロジェクト。

その街の顔とも言える駅前エリア。交通拠点としての立地環境を活かし

住宅・公共・生活利便施設を集積することで、駅前に賑わいと新たな人の流れを創りだします。

産・学・官・民一体で実現する駅前複合再開発タワー

プラウドタワー金町

東京理科大学葛飾キャンパスの新設等、整備が進められている金町駅周辺。「賑わいと活力ある広域複合拠点の形成と誰もが安心して暮らせる良好な住環境のまち」を目指した街づくりが期待されています。その金町駅前広場との一体整備により、住宅と生活利便機能を揃えた店舗や事務所等を集めとしたプロジェクトがプラウドタワー金町です。駅前広場隣接という立地条件を生かし地域に開かれた空間の整備とともに、隣接する再開発地区との回遊性や賑わいを創出。また免震構造の採用による防災性の向上を含めた住環境や地域の安心・安全性の向上を図りました。金町駅南口の顔となり未来を象徴する地区を誕生させています。

所在地: 東京都葛飾区
敷地面積: 2,655.64m²
用途: 住宅・商業・公共公益施設
総戸数: 分譲マンション190戸



「プラウドタワー金町」竣工写真



住宅と道路が一体に整備された「ふなばし森のシティ」の街並み 竣工写真

ZUTTO CITY

暮らす歓びを、ずっと抱きしめる都市

JR宝塚線「塚口」駅前に誕生する関西最大級の駅前再開発プロジェクト

プラウドシティ塚口

プラウドシーズン塚口

森のシティ MORINO CITY

東武アーバンパークライン「新船橋」駅前再開発プロジェクト

プラウド船橋

プラウドシーズン船橋

※JV案件

千葉県船橋市「新船橋」駅前の約11haの広大な敷地。住宅・24時間スーパー・総合病院・子育て施設・大規模公園などによる複合の街づくり「ふなばし森のシティ」。そのコンセプトは「スマートシェア・タウン」です。先進技術、ICTネットワークを活用して様々なシェアを行い、居住者のコミュニティ形成をサポート。“現代の技術を結集させて、未来に誇れる街を”。ここに暮らす人びとの意志によって、魅力的な街の価値を持続させていくことを目指しています。

所在地: 千葉県船橋市 敷地面積: 112,084m²

用途: 住宅・商業・医療

総戸数: 分譲マンション1,497戸(1街区~5街区)・

戸建住宅42戸



「プラウドシティ塚口マークフォレスト」竣工写真

所在地: 兵庫県尼崎市

敷地面積: 84,610.34m²

用途: 住宅・商業・医療

総戸数: 分譲マンション1,200戸、戸建住宅71戸、商業施設 他



「プラウドタワー名古屋栄」竣工写真

名古屋駅1km圏×敷地10,000m²超の複合再開発事業

プラウドタワー名古屋栄(テラッセ納屋橋) ※JV案件

名古屋駅と栄の中間に位置する納屋橋エリアで10,000m²超の敷地に住宅・商業・オフィス等、多数の用途を取り入れた再開発(名称: テラッセ納屋橋)。堀川を見渡すように配した段状のテラスで各用途を結ぶことで立体的な賑わいを創出したほか、歴史ある風情漂う街に馴染む意匠で既存環境との融合を目指しました。誰もが安心して住まい、働き、憩うことのできるコンパクトシティ“暮らす都心”を実現し、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。

所在地: 愛知県名古屋市
敷地面積: 11,108.29m²
用途: 住宅・商業・オフィス・医療
総戸数: 分譲マンション347戸



約8,000m²の「みんなの森」

Area Management

良好なコミュニティが支える持続的な街づくり。

人口減少・少子高齢化、ライフスタイルの多様化やコミュニティの希薄化など社会構造に大きな変化が訪れています。

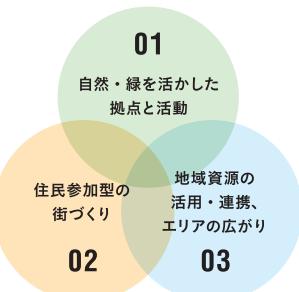
野村不動産ではハードとソフトの両面から調査研究を行い、「永く住み続けられる街」を創るには、地域の価値向上に寄与すると共に、人と人が緩やかにつながる良好なコミュニティの形成が重要であると考えます。

様々な挑戦から生まれた当社独自のエリアマネジメントを通してコミュニティ形成を促し、

未来につながる街づくりを推進しています。

街と地域をつなぐ 地域共生型の街づくり

ハードとしての街づくりに加え、ソフトとして
地域の多様なプレイヤーとの連携基盤を有する
地域共生型の街づくりを目指して



Plaudoタワー亀戸クロス広場／完成予想図



南山BASE

新しい街づくりを 実現する「ACTO」

「ACT」であり、「開く扉」。
いつでも、だれにでも、
開かれたオープンコミュニティ



■ 吉日楽校/きちじつがっこう(プラウドシティ日吉)

地域とのネットワークづくりは、竣工前から始まっています。「ACTO日吉」では、工事期間中から、建設現場の一部を「吉日楽校」として開き、地域の教育機関や活動団体を紹介するだけでなく、地域の方々の「このまちでやってみたい・はじめたい」を応援する取り組みを実施しました。ここで活躍してくれた様々な活動が竣工後のACTO日吉に引き継がれています。

子どもたちと一緒に街を考える 「まちをみるめ」

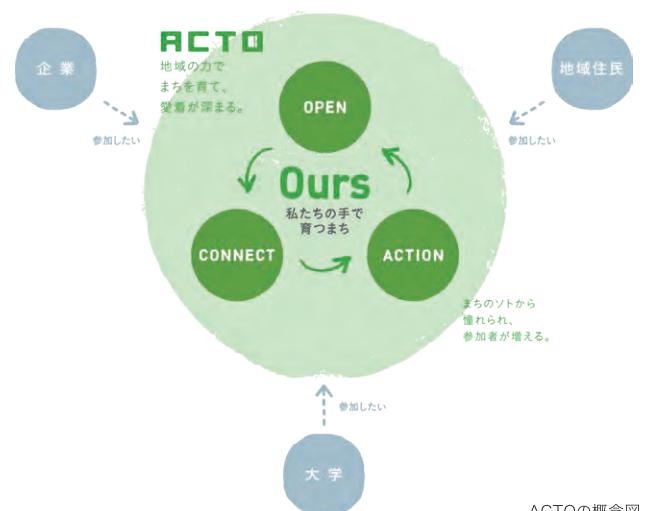
みるめを見つける
みるめを育む
新しい街づくりの発想

■ まちをみるめ

小学3～6年生を対象とした出張授業プログラムを実施。子ども達の街への想いと当社の街づくりへの想いを伝えあい、プロジェクトに活かしていきます。2019年度グッドデザイン賞受賞。



ACTO(アクト)は、野村不動産グループの目指す地域とつながる街づくりを支えるために開かれたオープンコミュニティです。「まちの共用部」を開設し、コミュニティの交流や活動の拠点となって、「このまちでやってみたい・はじめたい」を叶えます。まちには、そんな話を聞いてくれる人「エリアコーディネーター」や、話を広げてつないでくれる人「エリアデザイナー」もいます。そして、活動を推進するエリマネ組織を設立し、情報発信や活動紹介のためのまちサイトを用意することで、そんな活動をサポートしながら少しづつ広げていきます。一人ひとりの“好きな時間”が集まり、つながって拡がっていくことで、まちへの愛着が芽生え、シビックプライドが醸成されたオープンコミュニティによって支えられる、サステナブルなまちが実現します。



ACTOの概念図

「まちをみるめ」は野村不動産グループが考える、まったく新しい街づくりのかたちです。小学校での出張授業を通じて子どもたちの街への興味や関心を育み、街の中の大切な物事を一緒に考えます。授業は子どもたちが「外国人」や「お年寄り」など、それぞれの立場になりきって街を観察。そこで得た気づきを発表しあうことで、これまでとは違う目線で、街の課題や大切にしたい事など、生徒たちと一緒に話し合います。私たちは、授業を通じて生まれた子どもたちの発見を真正面から受け止め、同じ目線で街の新しい価値創造に取り組んでいきます。





NOMURA REAL ESTATE DEVELOPMENT

Redevelopments & Mixed-use developments



多機能で利便性の高い街づくりにより、 多様なワークスタイル・ライフスタイルに対応

街づくりの実績・ノウハウを活用し、地域社会・行政と長期にわたり連携しながらプロジェクトを推進。
変化するニーズに対応するとともに充実した都市機能と安心・安全・快適さを備え、
地域社会と共に繁栄する街の実現を目指します。



浜松町ビルディング(旧東芝ビルディング)建替事業

芝浦一丁目計画

1984年竣工の「浜松町ビルディング」建替による大規模複合再開発を、野村不動産ビルディングならびに東日本旅客鉄道と共同で推進しています。区域面積約4.7haに高さ約235mのツインタワーを配置。オフィスをはじめ、ホテル・住宅・商業施設等からなる延床面積約55万m²の複合施設を計画。日本を代表する建築家である槇文彦氏を設計者として迎え、東京湾岸部の新たなシンボルになるとともに、先進の省エネ・省CO₂技術と、「自社施設等での創電」による再生可能エネルギーと「カーボンニュートラル都市ガス」の導入等により、街区全体でのCO₂排出量実質ゼロを実現予定。さらに本計画のみならずエリア全体の賑わい創出、東京の更なる国際競争力の向上に貢献すべく、未来につながる街づくりを目指しています。

所在地: 東京都港区
区域面積: 約47,000m²
規模: S棟 地上43階 地下3階 / 約235m

N棟 地上45階 地下3階 / 約235m

主要用途: オフィス・商業・ホテル・

住宅・駐車場他

竣工: 2024年度

N棟 2030年度

国家戦略特区

※JV案件
※仮称

日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業

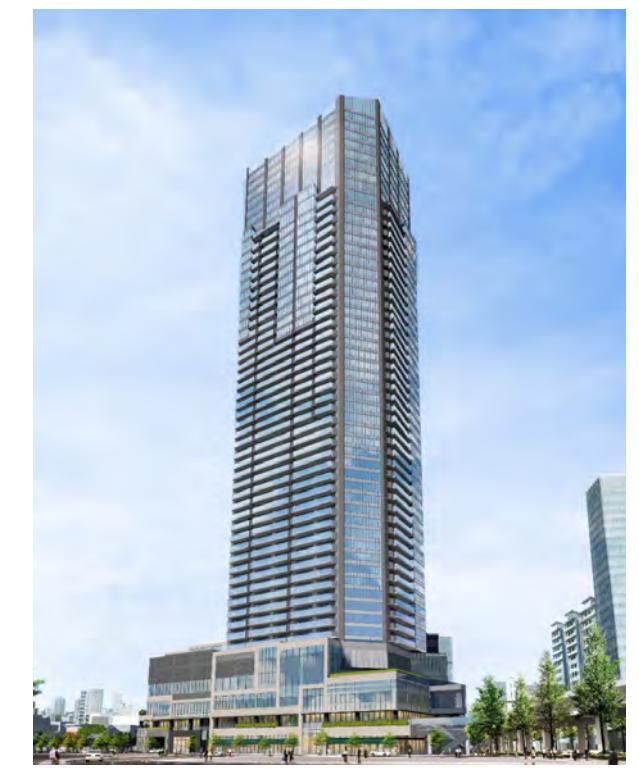
日本橋一丁目中地区

国家戦略特区

※JV案件
※仮称

JR東京駅に近接したうえ東京メトロ・都営地下鉄日本橋駅に面し、成田空港と羽田空港とのアクセス性にも優れた日本橋一丁目中地区。立地ポテンシャルをいかした土地の有効利用を目指して街区再編による土地の高度利用を計画。業務機能・商業機能・業務支援機能等の複合機能集積地の形成、地上・地下の歩行者ネットワークの強化による回遊性の創出、歴史的建築物の保全活用、日本橋川沿いの良好な水辺環境の創出および都市防災機能の強化など国際競争力を備え日本橋エリアの魅力・活力を向上する都市機能の更新を行います。

所在地: 東京都中央区
敷地面積: 約18,900 m²
規模: 地上51階 地下5階 / 約287m
主要用途: オフィス・商業・カンファレンス・ホテル・住宅等



西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業

西麻布三丁目北東地区

※JV案件
※仮称

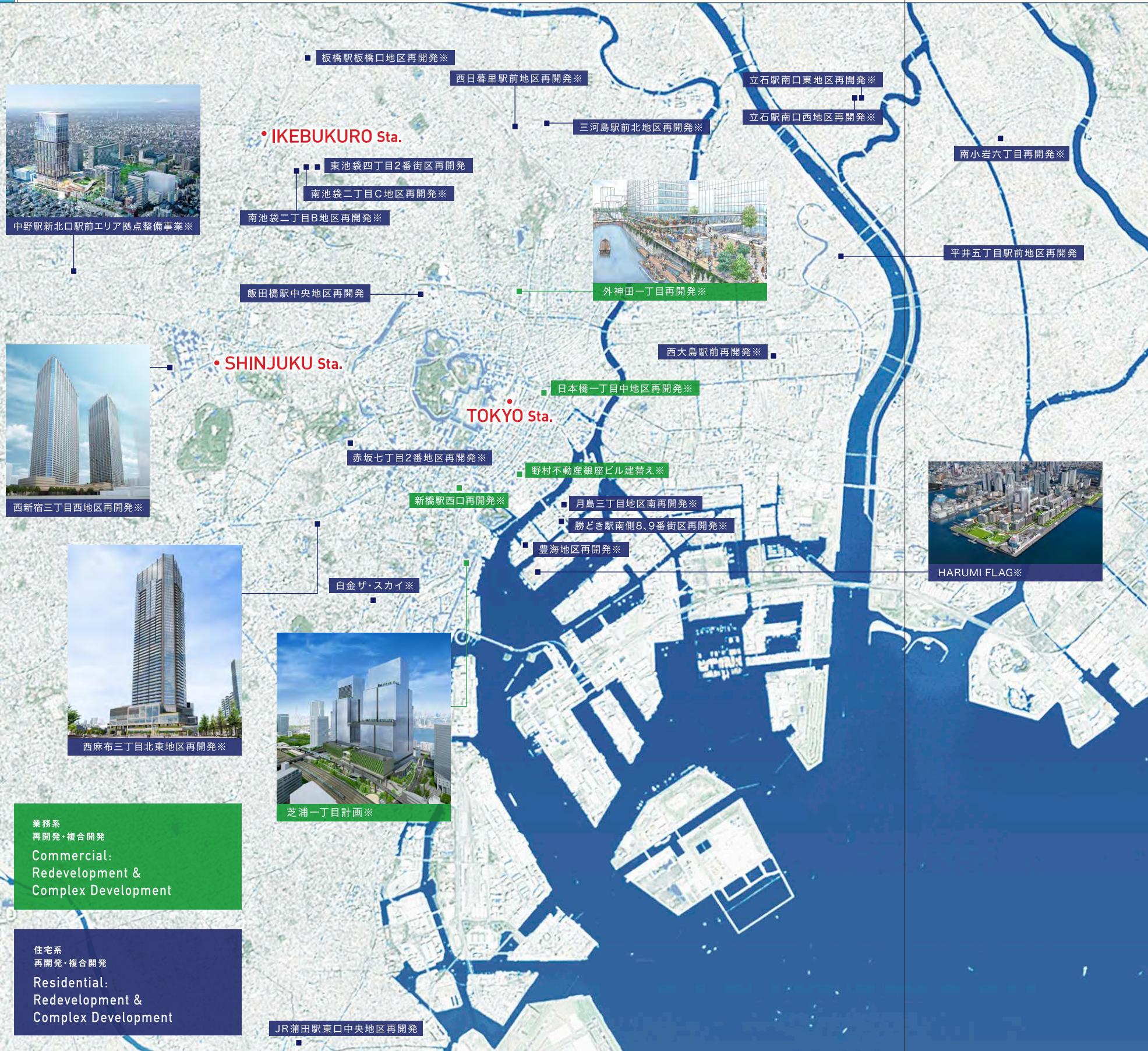
東京メトロ日比谷線および都営大江戸線「六本木」駅から西へ約300m、「六本木ヒルズ」に隣接する約1.6haの区域において、周辺市街地と調和した緑豊かで魅力ある複合市街地を計画。超高層棟に都市居住機能・商業・業務機能を導入するほか、外資系ラグジュアリーホテルブランドの誘致を目指します。また都市計画道路である「テレビ朝日通り」の拡幅や歩行者デッキ及び地域の拠点となるオープンスペースの整備と併せて、地区内の3つの寺社を再整備し、まちの歴史を継承。防災性の向上、憩いと賑わいの創出、質の高い住環境の整備などに寄与することで、魅力ある街づくりを推進します。

所在地: 東京都港区
区域面積: 約16,000m²
主要用途: 住宅・事務所・商業・ホテル・子育て支援施設、神社及び寺院並びにこれらに付属する建築物

イメージパース

※掲載の外観イメージパースは、今後変更となる場合があります。

未来を担う数多くの都市開発に参画しています。



官民連携事業や複合再開発事業など
数多くの大規模開発に参画しています。

首都圏

まちづくりの初期構想の段階から地域と課題を共有し、
開発だけではなく、その後の運営・管理も視野に入れて事業を計画。
竣工後も、まちが活性化され、まち全体の価値が保たれるよう
野村不動産グループの総力を挙げてサポートします。

各都市の中心部での再開発事業に参画し
持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

地方中核都市

大都市圏でのノウハウを活かし、
新幹線停車駅など地方中核都市での再開発事業を展開。
人口減・高齢化が首都圏よりも早く進行する
地方都市におけるコンパクトシティ化に対応します。



[※]はJV案件です。
◎主な参画中の案件を掲載しています。
○掲載の外観イメージバースは、今後変更となる場合があります。

Overseas Business

NOMURA REAL ESTATE DEVELOPMENT

海外事業

国内で培った商品企画・サービスのノウハウを活用し
成長著しい東南アジア諸国を中心に事業を展開

東南アジア諸国では、より質が高く快適な生活環境を求める志向が高まり、住宅・オフィス市場における量から質への転換期が到来しています。野村不動産グループでは各国の優良企業とパートナーシップを結ぶことにより、現地により深く根ざした継続的な事業体系を構築しながら、タイ・ベトナム・フィリピン・中国などの成長著しい国々で事業を展開しています。また、既進出国での事業拡大に加え、2021年より英国のオフィス開発事業にも参入し、新たな国での事業展開を図り、海外事業全体のポートフォリオを強化します。日本国内で培ってきた開発・運営・不動産関連サービスに関するノウハウの活用や独自のマーケットイン発想を活かして、各国の潜在的ニーズを読み解き、付加価値を備えた商品・サービスを提供しています。

[野村不動産グループの海外ネットワーク]



サンシャイン・ポート/完成予想図

Thailand



パークオリジントンロー

タイ・バンコクにおける 分譲住宅プロジェクト

高級住宅街として名高いトンロー地区(ワッタナー区)に立地する、地上39階・53階・59階建ての3棟からなる超高層マンション。約60もの共用施設を設置するとともに、新たな取り組みとして、インターベンチナルホテルズグループの協力のもと、ホテルライクな24時間管理サービスを提供します。

■ 住宅事業 海外案件

| プロジェクト | 総戸数 |
|----------------|--------|
| バンコク・ラチャヨーティンB | 489戸 |
| バンコク・オンヌット | 601戸 |
| バンコク・ラムカムヘン | 685戸 |
| バンコク・パーク トンロー | 1,187戸 |
| バンコク・ラチャテウイ | 263戸 |

| プロジェクト | 総戸数 |
|-------------|--------|
| バンコク・ラマ IV | 501戸 |
| バンコク・サイルアット | 1,001戸 |

| プロジェクト | 総戸数 |
|------------|------|
| バンコク・ラミントラ | 679戸 |
| バンコク・ホイクワン | 342戸 |

イメージベース

Viet Nam



Grand Park プロジェクト

大規模開発事業「Eco Park プロジェクト」内 分譲住宅事業に参画

ハノイ首都圏のフンエン省における、全体敷地約500haのタウンシップ開発(2030年全街区完成予定)。住宅・オフィス・商業施設・学校・公園などの都市機能を備え、約100haの緑や水辺といった豊富な自然を兼ね備えたプロジェクトです。

■ 住宅事業 海外案件

| プロジェクト | 総戸数 |
|-------------|---------|
| ホーチミン・フミーフン | 約2,400戸 |
| エコパーク | 約3,000戸 |

プロジェクト 総戸数

エコパーク 約3,000戸

グランドパーク 約10,000戸超

バンコク・ラムカムヘンII 485戸

バンコク・ラマIV 501戸

バンコク・サイルアット 1,001戸

バンコク・ラミントラ 679戸

バンコク・ホイクワン 342戸

バンコク・ラチャヨーティンB 489戸

バンコク・オンヌット 601戸

バンコク・ラチャテウイ 263戸

バンコク・ラムカムヘンI 685戸

バンコク・パーク トンロー 1,187戸

バンコク・ラチャヨーティンA 489戸

バンコク・ラチャヨーティンC 263戸

バンコク・ラチャヨーティンD 263戸

バンコク・ラチャヨーティンE 263戸

バンコク・ラチャヨーティンF 263戸

バンコク・ラチャヨーティンG 263戸

バンコク・ラチャヨーティンH 263戸

バンコク・ラチャヨーティンI 263戸

バンコク・ラチャヨーティンJ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンK 263戸

バンコク・ラチャヨーティンL 263戸

バンコク・ラチャヨーティンM 263戸

バンコク・ラチャヨーティンN 263戸

バンコク・ラチャヨーティンO 263戸

バンコク・ラチャヨーティンP 263戸

バンコク・ラチャヨーティンQ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンR 263戸

バンコク・ラチャヨーティンS 263戸

バンコク・ラチャヨーティンT 263戸

バンコク・ラチャヨーティンU 263戸

バンコク・ラチャヨーティンV 263戸

バンコク・ラチャヨーティンW 263戸

バンコク・ラチャヨーティンX 263戸

バンコク・ラチャヨーティンY 263戸

バンコク・ラチャヨーティンZ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAA 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAB 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAC 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAD 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAE 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAF 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAG 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAH 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAI 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAJ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAK 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAL 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAM 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAN 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAO 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAP 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAQ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAR 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAS 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAT 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAU 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAV 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAW 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAX 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAY 263戸

バンコク・ラチャヨーティンAZ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBA 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBB 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBC 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBD 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBE 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBF 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBG 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBH 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBI 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBJ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBK 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBL 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBM 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBN 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBO 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBP 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBQ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBR 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBS 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBT 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBU 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBV 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBW 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBX 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBY 263戸

バンコク・ラチャヨーティンBZ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCA 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCB 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCC 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCD 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCE 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCF 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCG 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCH 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCI 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCJ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCK 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCL 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCM 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCN 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCO 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCP 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCQ 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCR 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCS 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCT 263戸

バンコク・ラチャヨーティンCU 263戸

野村不動産グループのサステナビリティ

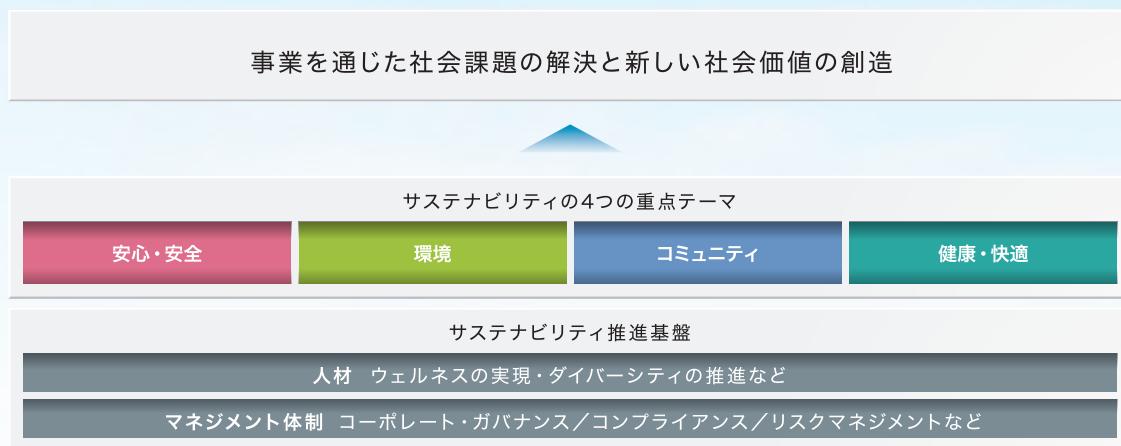
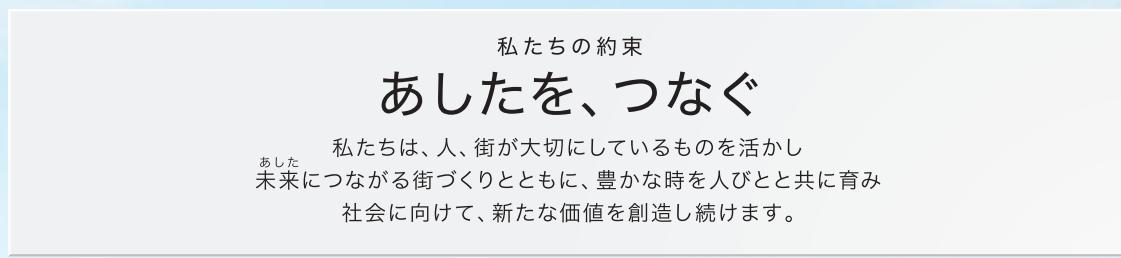
野村不動産グループは、「私たちの約束」をグループ企業理念として掲げています。

「私たちの約束」は取締役会で決定され、中長期経営計画「New Value, Real Value」が目指す将来像となっています。

また、「私たちの約束」を実現するためのサステナビリティ推進体系として

4つの重点テーマ（「安心・安全」「環境」「コミュニティ」「健康・快適」）と

2つの推進基盤（「人材」「マネジメント体制」）を設定し経営戦略とサステナビリティの一体推進を図っています。



4つの重点テーマ

安心・安全

建物やインフラの老朽化、自然災害の増加などの社会課題に対し適切な品質管理に基づく商品・サービスの提供や持続可能な街づくりによってお客さまや地域社会の安心・安全の実現に貢献。非常時にも事業や生活を継続できる職住環境づくりを推進します。



木造不燃化特区の再開発事業
(クラウドタワー東池袋)への参画
オフィスビルテナントのための
防災拠点を設置

環境

気候変動や天然資源の枯渇、生態系の崩壊などに対し省エネルギー・低炭素社会への取り組みや再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した街づくりを通じて持続可能な社会の実現に貢献。環境法令・規制を遵守し適切な環境マネジメントを推進します。



ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)
再生可能エネルギーの活用
マンションの取組みを推進

コミュニティ

少子高齢化や空き家の増加などによるコミュニティの機能不全や活力低下に対し建築設計上の取り組みや運営・管理上のサービスを通じてお客さまや地域社会のつながりを醸成し、コミュニティの育성을支援。非常時の円滑な共助やコミュニティの活性化を促し、共生型社会の実現に貢献します。



『マンションコミュニティのための
デザイン手法100』の採用
『オープン型コミュニティの取組みである
「アクト日吉」の活動』

健康・快適

少子高齢化やグローバル化、個人の価値感・ライフスタイルの多様化に対しステークホルダーとのコミュニケーションを通してさまざまな人が、健康で快適な生活を送ることができるよう商品・サービスを提供。多様性を尊重しあう、健やかで活力ある社会の実現に貢献します。



『パリアフリー＆クオリティ オブ
ライフガイドブック』
地域の高齢者への運動支援

サステナビリティ推進基盤

人材

全ての役職員が心身共に健康で活き活きと仕事に取り組むことが企業の持続的成長につながると捉え「ウェルネス経営」を推進。様々な考え方を持った人材が、属性にかかわらず個性や能力を発揮できるようダイバーシティの推進と校正で働きがいのある職場づくりに努めます。



野村不動産グループアワード



新人研修(タグラグビー)

マネジメント体制

コンプライアンスの強化、リスクマネジメントおよびコーポレート・ガバナンスの推進を重要な経営課題として捉えお客さまや地域社会、従業員やサプライヤーを含む、すべての人の人権を尊重した事業活動を行います。



コンプライアンス研修の様子

様々な事業を通して社会課題の解決に貢献

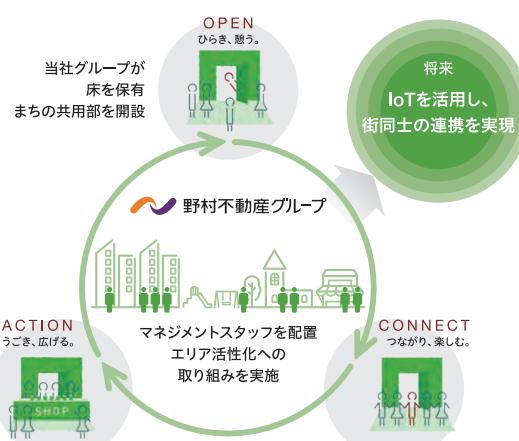
KAMEIDO PROJECT

経済産業省「超高層ZEH-M実証事業」

複合開発事業

社会課題への取り組み | ●持続可能な街づくりの実現 ●地域コミュニティの活性化 ●環境負荷の低減

総戸数934戸の「プラウドタワー亀戸クロス」と100店以上のテナントが入る大型商業施設、小学校用地、複数の広場が誕生する大型複合開発「KAMEIDO PROJECT」。本プロジェクトでは、街の共用部としての空間確保やエアリーデザイナーを確保した「ACTO」を設置し、地域コミュニティの活性化を目指しています。また、環境面においては、住宅棟において快適性を向上させつつ、高い省エネ効果も期待できる住戸全体にエアコンの風を送るセントラル方式の空調システムを採用しました(一部住戸除く)。



Plaudo Tower Kameido Cross

木質化への取組み

住宅事業

オフィス事業

社会課題への取り組み | ●CO2排出削減 ●生物多様性保全 ●森林サイクルの保全

当社においては、生物多様性保全と資源の持続可能な利用に配慮するという観点などから木材利用を推進しています。その中でも国産木材活用は、木材の持つストレス軽減・健康増進効果にとどまらず、森林サイクル保全による自然災害の防止、CO2削減等、当社グループが目指す持続可能な街づくりにとって大変有用であると認識しており、幅広い分野での活用を推進しています。



国産木材を使用した木造共用棟
飛鳥山レジデンス(イメージベース)



主要構造への木造ハイブリッド構造を導入したH1O 外苑前(イメージベース)

社員の心身の健康を何よりも大切にした「ウェルネス経営」の推進

■ ウェルネス経営の全体像

社員の心身の健康をベースに働き方改革とダイバーシティを推進する「ウェルネス経営」を推進しています。

ウェルネス経営の概念図



■ 具体的な取り組み例

ウェルネス

- ・産業医・保健師・看護師からなる「健康相談室」を設置
- ・継続した運動機会の提供(スポーツジム利用料の費用補助)
- ・女性のための健康セミナーの実施 等

【健康経営優良法人2021(ホワイト500)認定】

当社は経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」に認定されました。当認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



【野村不動産 健康経営宣言】

野村不動産において、人財は最大の財産であり、社員が心身ともに健康であることが、未来につながる新たな価値創造の源泉であると考えます。この人財を基軸とする理念に基づき、私たちは、社員の健康保持・増進を積極的に支援する健康経営を推進いたします。



働き方改革

- ・2017年度よりテレワーク勤務制度を導入し、サテライトオフィス「H1T(エイチワンティー)」の活用など時間や場所にとらわれない働き方を推奨。
- ・ワークライフバランスの改善、労働生産性の向上、育児や介護と仕事の両立の基盤を提供。
- ・クラウドの活用を含め、ICTテクノロジーを用いた新たな事業活動を推進。
- ・過重労働防止の取組みを実施。



ダイバーシティ

- ・社員一人ひとりのウェルネスと成長を実現することを目的に上司と部下が定期的に対話をを行う1on1ミーティングを実施。
- ・グループ全社員が利用できるミニティースペース「ARUMON」を設置。食事や勉強の他、定期的なイベント開催など、組織の枠組みをこえたコミュニケーションを促進。
- ・社員同士のつながりの場としてサッカーや野球等のスポーツ、釣りなど様々な同好会活動を会社が支援。
- ・フレックスタイム制度や配偶者の海外転勤時の休職制度など、ライフイベントと仕事の両立をサポートするため制度を導入。



沿革

野村不動産は1957年にビルの
賃貸・管理を主業務とした不動産事業からスタート。
以来、時代やマーケットに適応しながら積極的に事業領域を拡大してきました。

1960年代

1957 野村證券から分離独立、ビルの賃貸・管理を主業務として不動産事業を開始
1959 仲介業務を開始



「新宿野村ビル」

1970年代

1961 「鎌倉・梶原山住宅地」の開発で、デベロッパー業務を開始
1963 「コープ竹の丸」の建築でマンション分野に進出
1964 大阪支店最初の住宅地「枚方住宅地」造成工事着手
1965 旧本社社屋「江戸橋ビル」完成。鑑定業務を開始
1969 本格木造住宅「野村ホーム」を開発、住宅建築分野に進出

デベロッパー業務を開始

1980年代

1972 「野村マイホームサークル」制度発足、会員募集開始／南太平洋の斐ジー島の別荘分譲開始(初の海外事業)
1975 インテリアの販売・設計・コンサルティング業務を本格的に開始
1978 「新宿野村ビル」竣工。本社を日本橋から移転



「鶴川緑山住宅地」

1990年代

1992 八千代緑が丘土地分譲開始
1994 広島西部丘陵都市「西風新都」「A.CITY ヒルズアンドタワーズ」分譲開始
1995 メガロスブランドの1号店「メガロス草加工ガザス」オープン
1999 関西学術研究都市「けいはんな公園都市」分譲開始

「鶴川緑山住宅地」



「プラウド久我山」

2000年代

2000 流通事業部門を独立「野村不動産アーバンネット株式会社」営業開始
初のオーダーメイドマンション「深沢ヒルズ」14戸竣工
2001 野村不動産インベスト・マネジメント株式会社設立
民間単独では最大級の業務系開発「横浜ビジネスパーク(YBP)」全11棟竣工
2002 住宅の統一商品・サービスブランド『プラウド』を発表

- PROUD -

「千都の杜住宅地」分譲開始
国内初の不動産オポチュニティ・ファンド「日本・不動産オポチュニティ・ファンド(JOFI)」を組成

2003 プラウドブランド第1号「プラウド久我山」竣工
野村不動産オフィスファンド投資法人、東京証券取引所に上場
2004 野村不動産ホールディングス株式会社設立、持株会社体制へ移行
2005 収益不動産開発事業「イオン八千代緑が丘ショッピングセンター」オープン
2006 野村不動産ホールディングス株式会社が東京証券取引所市場第一部に上場
2007 大型物流施設『ランドポート』ブランド第1号「ランドポート厚木」開業
2008 プレミアムミッドサイズオフィス『PMO』ブランド第1号「PMO日本橋本町」竣工
2009 プラウドエコビジョン策定



「プラウド久我山」



「東京証券取引所市場第一部に上場」



「PMO日本橋本町」

2010年代

2010 スケルトンオーダーメイドシステム「プラウド元麻布」竣工
初のマンション建替え事業開始「プラウド新宿御苑エンパイヤ」竣工

「日本橋室町野村ビルYUITO」オープン

『オハナ』ブランドスタート「オハナ八坂萩山町」



2012 都市型商業施設『GEMS』ブランド第1号「GEMS渋谷」開業
オーナー向けサービス「リロケーションサービス」発表

2013 「SMART & GROWING」発表

業界初。引渡後10年間の専有部メンテナンスサービス「NEXT PASS10」スタート
フランス大使館を貸主とする定期借地マンション「プラウド南麻布」竣工

「bono相模大野」オープン

「プラウド船橋」ワールドスマートシティ・アワード受賞

「プラウド船橋一街区・二街区」マンション初の ISO50001 取得

2014 「横浜ビジネスパーク(YBP)」いきもの共生事業 ABINC 取得



2015 野村不動産グループ各社が連携しサービスを提供する会員組織「野村不動産グループカスタマークラブ」発足
「ふなばし森のシティ」エコカルテイ工認証(環境配慮型地区認証)

ベトナム・ホーチミン「フーミーフン」エリアにおける日系企業初の不動産開発「ミッドタウンプロジェクト」開始

2017 ホテル事業へ進出「野村不動産ホテルズ株式会社」設立

健康増進型・賃貸シニアアレジデンス『OUKAS』ブランド第1号「オウカス 船橋」開業

Origin Property社と共同で、タイ・バンコクにて当社初の分譲住宅事業へ参画

2018 新・街づくり構想「BE UNITED構想」発表

「NOHGA HOTEL」ブランド第1号「NOHGA HOTEL UENO TOKYO」開業



2019 シンガポール「Tokio Property Service」と資本提携

「庭のホテル」を保有する(株)隆文堂及び(株)UHMを完全子会社化

日本初ハイブリッド型マンション「プラウド上原フォレスト」竣工

ベトナム・ホーチミン「ZEN PLAZA」を完全子会社化

サービス付小規模オフィス『H'0』ブランド第1号「H'0 日本橋室町」開業

サラライト型シェアオフィスブランド『HIT』5拠点にてサービス開始



「ノガホテル 上野 東京」

2020年代

2020 ベトナム・ホーチミン大規模開発事業「Grand Parkプロジェクト」参画

中国・江蘇省常州市大規模開発事業「常州市天寧区プロジェクト」参画

サービス特化型商業施設『MEFULL』ブランド第1号「MEFULL 茶屋町」開業

健康経営優良法人2020(ホワイト500)に認定

地域密着型商業施設『SOCOLA』ブランド第1号「SOCOLA 若葉台」開業

タイ・バンコク「Staybridge Suites Bangkok Thonglor」サービス・アパートメント開業

国家戦略特区事業「東京虎ノ門グローバルスクエア」竣工

野村房地産諮詢(上海)設立

「ザ・シーズンズレジデンス」が「International Property Award」にて、

フィリピンの最優秀賞受賞、アジア・パシフィック地域のFIVE STARに認定



「MEFULL 茶屋町」



野村不動産

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ